

# 緊急消防援助隊情報

## 令和6年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練の実施結果について

### 広域応援室／中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行委員会

令和6年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練は、香川県の地域特性を反映した災害を想定し、「緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱」及び「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」に基づく緊急消防援助隊の応援要請、部隊の参集、配置等の実災害に即した訓練計画を策定し、自衛隊・海上保安庁・警察・DMAT等防災関係機関を含めた連携活動能力の向上及び緊急消防援助隊相互の連携強化を図ることを目的としたものであり、次のとおり実施した。

#### 1. 実施日

令和6年11月9日（土）・10日（日）

#### 2. 実施場所

高松市、さぬき市、東かがわ市

#### 3. 訓練想定

令和6年11月9日（土）9時00分頃、瀬戸内海東部を震源とする大規模地震が発生し、香川県内において最大震度6強が観測された。

この地震により、高松・東讃地域において建物倒壊、土砂崩れ等の被害が多数発生するとともに、沿岸部には津波が押し寄せ甚大な被害が発生している。

香川県内の消防力では対応が困難であることから、緊急消防援助隊の応援を要請する。

※ 図上訓練の想定は一部異なる。

#### 4. 実施内容

##### (1) 災害対策本部等設置運営訓練

想定地震発生後に、香川県庁に災害対策本部、航空運用調整班、消防応援活動調整本部、保健医療福祉調整本部を、高松市消防局及び大川広域消防本部に指揮本部、香川県防災航空センターに航空指揮本部を設置した。応援要請等に係る情報伝達、受援調整及び緊急消防援助隊の部隊活動調整等について、ブラインド型のロールプレイング方式により、各会場が連動した図上訓練を実施した。

また、徳島県防災ヘリ「うずしお」、国土交通省四国地方整備局ヘリ「愛らんど号」のヘリ映像を伝送し、情報共有を行った。

##### 《今後の課題等》

○ 各機関との調整、横の連携の重要性について、認

識を共有した。その一方で、県災害対策本部と消防応援活動調整本部・防災関係機関が、会場のレイアウト上、通路を挟んでやや離隔しているため、情報共有の工夫が必要である。また、航空運用調整班を5名編成で実施したが、多数の航空運用要望が寄せられる中、迅速な対応がやや困難であったことから、体制の強化が必要である。



災害対策本部等設置運営訓練（9日）香川県庁

##### (2) 部隊参集訓練及び災害即応訓練

応援部隊は、各県が定める応援計画等に基づき、被災地へ出動し当該計画の実効性を確認した。

災害即応訓練では、道路寸断等で陸路での進出が困難な場合を想定し、海上保安庁が保有する巡視船により、部隊輸送を行った。

また、陸路により災害現場に部隊を投入できない場合を想定し、消防防災ヘリや自衛隊が保有するヘリを活用し、災害現場に部隊の投入を行った。

その他、各訓練ではドローンや無線中継車を活用し災害対策本部等と災害現場間での映像伝送装置による情報共有を行った。

##### 《今後の課題等》

○ 今回、映像伝送による情報共有が非常に有効であると感じたが、伝送システムが防災機関によって様々であり、受信側の事前設定が必要なシステムもあることから、突然起こる災害に対して、早期に有効な情報共有ができるシステム構築が課題である。



部隊参集訓練（9日）志度東体育館南側市有地



大規模土砂災害救助訓練（10日）徳島文理大学香川キャンパス第三土場



山間部孤立者救助訓練（9日）国分台演習場



津波漂流者・孤立者搜索救助訓練（10日）香川県消防学校

### (3) 部隊運用訓練

指揮支援部長の統制の下、地震被害を想定した各種訓練を関係機関と連携して実施した。

各防災航空隊による偵察・情報収集訓練及び自衛隊等と連携した救助訓練を実施したほか、関係機関が連携した各種災害想定訓練を実施した。

指揮支援隊の活動統制の下、現地合同調整所を設置し、県内応援隊、複数の県大隊及び関係機関が連携して情報共有を図る統括的な指揮活動を実施した。

また、水陸両用車、高機能救命ボート及び重機等多数の消防庁無償使用車両の災害対応力について検証、安全管理部隊の検証、複数県の救急小隊で救急部隊を編成し搬送体制を確立する訓練を実施した。

#### 《今後の課題等》

- 安全管理部隊を配置し、ドローンを活用した安全管理の検証を行ったが、上空からの安全管理体制も非常に有効であった。
- 各県大隊の救急小隊を分割し救護所設営訓練を実施したが、現場要請や病院搬送要請が集中し、救急車が不足するため、活動の優先順位を明確にする必要がある。

### (4) 後方支援活動訓練

東かがわ市とらまる公園及び香川県総合運動公園において、拠点機能形成車及び支援車Ⅰ型等を活用したほか、女性隊員の宿営についても検討・実践した。

また、自己完結による後方支援活動を実施し、各県大隊等の後方支援体制を検証した。

#### 《今後の課題等》

- 女性職員の緊急消防援助隊派遣人数も増えることを考え、安心して休息できるテントのレイアウトやトイレの配置等考慮する必要がある。



後方支援活動訓練（9日）とらまる公園



## 5. おわりに

今回の訓練は、消防応援活動調整本部、指揮本部及び航空指揮本部の運用調整、海上保安庁が保有する巡視船等での部隊輸送、陸上自衛隊ヘリでの部隊投入等関係機関と連携した合同訓練を実施する等、より実践的な訓練となるよう計画しました。

香川県における緊急消防援助隊の受援及び部隊運用、関係機関との連携活動等における課題等が明らかとなり、実災害への対応に向けた大変有意義な訓練であったと考えます。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、緊急消防援助隊の応援・受援体制の更なる充実強化に努めてまいります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました中国・四国ブロック各県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。



解隊式及び訓練終了式（10日） 徳島文理大学香川キャンパス第三土場

### 問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室  
TEL：03-5253-7569（直通）